

ありみ ~1月号~ 仙台 YMCA 幼科

仙台 YMCA 幼稚園 2023年1月10日(火)

「新しい年」 主 題

聖書の言葉 「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された」

ルカによる福音書-2:52

あけましておめでとうございます。あっという間に3学期になりました。年長組の子どもたちもあと3か月と なりました。たくさん楽しい思い出を作って欲しいと思っています。

12月のクリスマス礼拝にご参加いただきましてありがとうございました。自分たちで決めた役を一生懸命演じ ていた姿を見て嬉しくなりました。クリスマスを皆さんと共に楽しむことが出来たことを感謝したいと思います。 ももさんいちごさんは来年の聖誕劇を楽しみにしていてください。

また、献金へのご協力をいただきましてありがとうございました。献金袋に小銭が入っていて、子どもたちが一 生懸命貯めてくれたことがわかりました。世界に目を向け、自分たちが少しでも力になれたことを感じてもらえた ら嬉しいです。

去年は全国の保育現場で子どもを宙づりにするなど痛ましい報道が多くありました。保護者の皆様も不安になら れた方もいらっしゃるのではないでしょうか。私たち職員もそのニュースを見てとても辛い気持ちになりました。

私がこのような話をするのはおかしいかもしれませんが、私たちの園は職員の人間関係が非常に良いと思ってい ます。どの職員に聞いてもそのように答えてくれるはずです。忙しい職員がいたらカバーし合い、声を掛け合いな がら毎日保育をしています。悩み事があれば相談する先輩がいて、いつでも聞いてくれます。保育が終わると子ど もたちの可愛らしいエピソードを事務所で話していることも多くあります。この温かい雰囲気が子どもたちにも伝 わっているのではないかと思います。

このような環境で保育をしていますので、是非安心して送り出していただければと思います。

保護者の方々も毎日の子育ては辛くなったり、悩んだりすることがあると思います。誰かに話すだけで気持ちが らくになることがあります。どんなことでもぜひ職員にお話ください。幼児期はあっという間に過ぎてしまいま す。子育てを楽しんでいただけるよう皆様のお力になりたいと思っています。(園長 高橋祐子)

ももぐみ ・新しい友達関係を喜ぶ

・自分の気持ちに気付く

いちごぐみ・冬ならではの遊びを通して、自然の不思議を味わう

・友だちと一緒に、様々なあそびに触れ楽しむ

ひまわいぐみ・ルールのある遊びをみんなで楽しむ

ゆいぐみ ・友だちの素敵なところに気付き、伝えあう

・新しいことにも挑戦しようとする

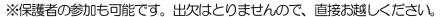
行事のお知らせ

10日(火) 全学年 始業礼拝

11日(水) 全学年 弁当開始

11日(水) ゆり組 交通安全教室 (PTA 主催行事)

時 間 10時30分~ 場 所 4階 401教室



※主催者側の意向で、子どもたちも可能な限りマスクを着用して参加します。登園時、**お子さんにマスクを持たせてください。**マスク着用に抵抗のある方は事前に職員までお知らせください。

12日 (木) もも・いちご・ひまわり組 あそびうたコンサート (PTA 主催行事)

時 間 10時30分~ 場 所 4階ホール

※保護者の参加も可能です。出欠はとりませんので、直接お越しください。

14日(土) 全学年 わくわくファミリーようちえん

ご家族で各保育室を自由に回り、工作などのコーナー遊びをします。

もも・いちご 組【登園】 8時50分【降園】 10時00分ひまわり 組【登園】 10時00分【降園】 11時10分ゆり 組【登園】 11時10分【降園】 12時20分

【持ち物】 水筒、保護者用スリッパ、絵本袋(前日までに園にお持ちください)

- ※上記の登園時間に合わせてご家族でお越しください。
- ※参加者全員分の体温を、受付名簿に記入していただきます。体温を測ってからお越しください。
- ※兄弟で在席しているご家庭は、どちらか一方のみの参加でも構いません。 その場合は事前に担任までお申し出ください。
- ※預かり保育は、お子さんの学年の回が終了してからお願いします。アプリ入力の上、事前にお申し出ください。

16日(月) ひまわり組 個別懇談開始

懇談の日程用紙はすでに配布しています。都合のつかない場合は職員までお知らせください。



ゆり組 雪あそび (予備日 30日(月)) 泉ヶ岳スキー場 23日(月)

8時30分~40分 ※遅れずに登園してください。 ≪登園時間≫

※延期の場合は、当日の朝7時30分に連絡アプリにて連絡します。

|12時10分~12時30分|||※通常保育日と異なりますのでご注意ください。 《路景時間》

> ※預かり保育を利用しないお子さんは、お弁当を食べずに降園となります。 ※預かり保育のお子さんは、帰園後、園でお弁当を食べます。

≪登園時の服装≫ 長靴又は雪あそび用ブーツ(足首まで隠れる物、防水加工をしている物) スキーウエア

≪持ち物≫

- ナイロン製の手袋マフラーまたはネックウォーマー
- 靴下(厚地のもの)ニット帽
- 雪あそび用ゴーグル(※あればお持ちください。)
- 雪あそび後の替えの手袋(※あればお持ちください。)
- 手付きのビニール袋(濡れた衣服を入れます。大きく記名をしてください。)
- 着替え用の靴下とパンツ
- ※上記の持ち物を全て通園リュックに入れて登園してください。そのまま雪あそび会 場に持っていきます。
- ※預かり保育のお子さんのお弁当は、園に置いていきます。
- ≪雪遊びお手伝いの保護者の皆さんへ≫

事前打ち合わせを行います。

日 時:1月19日(木)13時~ 場 所:YMCA本館の101教室

※打ち合わせ日、雪あそび当日共に、必ず検温をお願いします。

また、体調がすぐれない場合は無理をせず欠席していただいて構いません。

26日(木) いちご・ひまわり・ゆり組 わくわく保育

27日(金) 全学年 誕生会・絵本屋さん

~2月上旬の予定~

2月2日(木) ひまわり組保育参観 2月3日(金) もも・いちご組保育参観

【参観時間】 9時30分~10時30分

【懇談会】10時40分~11時30分

【持ち物】 スリッパ、筆記用具

- ※受付名簿に朝の体温を記載していただきます。体温を測ってからお越しください。
- ※今回の保育参観は、主に自由遊びの様子をご覧になっていただきます。参観の内容・ポイントについては保 育参観だよりにてお知らせしますので、ご確認ください。





















お知らせ

幼稚園での雪あそびの服装・準備について(全学年準備をお願いします)

雪が積もった日は、園庭で雪あそびをします。以下に記載している雪あそびの準備物を、雪が積もった日に合わせて園までお持ちください。雪あそびの準備物はお子さんのロッカーに置いておくか、お子さんの名前が書かれているジャンバー掛けに掛けておいてください。

雪あそびの準備物 *スキーウエアまたは、撥水加工のされている上着・ズボン

*ナイロン製の手袋

*長靴またはブーツ

*帽子

※全てに記名をしてください。

※登園時、身につけてきても構いません。

- ※雪あそびをするこの時期は、着替える機会が多くなるため、登降園時に着替えが揃っているか確認・補充をお願いします。特に汚れ物を入れる手付きのビニール袋の準備を忘れずにお願いします。
- ※この時期は身につけるものが多く、失くし物や荷物の取り違いが特に増えます。全ての持ち物に名前が 書かれているか確認してからお持ちください。

転居や転園について

新年度の準備の時期になりました。つきましては、転居や転園などが決定した場合は速やかに園へお知らせいただくようお願いいたします。

ゆり組の方には本日名簿作成のための調査用紙を配布しています。 17日(火)までに提出をお願いいたします。

よろしくお願いします。

今年も、どうぞよろしくお願いします。



ももぐみだより

12月はクリスマス礼拝へのご参加ありがとうございました。もも組は初めてのクリスマス礼拝ということで、礼拝の雰囲気を感じることに重きを置いて当日を過ごしました。来年はまた違った姿が見られることと思いますので、ぜひ楽しみにしていてください。

1月は3人の新入園児を迎え、ついにもも組12人全員が揃います。クラスでの活動や遊びがさらに充実したものになっていくだろうと考えています。

1月のねらい

一つ目のねらいは『新しい友達関係を喜ぶ』としました。在園児にとっても新入園児にとっても、新しい出会いがある月です。友達が増え、一緒に遊んだりお弁当を食べたりできることを喜んで過ごしてほしいという願いをもってこのねらいを立てました。遊びの中で関わるだけでなく、クラスの集まりで名前を紹介したり、教師を介して好きなものを伝え合ったりすることでお互いを知る機会を作っていきたいと思います。(これまでにも、集まりの中で教師がパペットを使いながら「お名前は何ですか」「好きな食べ物は何ですか」などと質問をし、一人ひとり答えるという経験を重ねてきました。)

友達が増えて「嬉しいね」「楽しいね」と感じられる雰囲気づくりを大切にしていきます。

二つ目のねらいは『自分の気持ちに気付く』です。子どもたちは幼稚園生活の中で、好きな遊びをして"楽しい"、友達や先生と一緒に居られて"嬉しい"、嫌なことをされて"悲しい"、おうちの人に会いたくなって"寂しい"など、様々な気持ちになりながら生活しています。しかし、今自分がどんな気持ちでいるのか、それをどう表せばいいのか分からないことも多い年齢です。適切な表現方法が分からないと、「嫌だ」という気持ちを相手や教師に伝えられずにもどかしい思いをしたり、叩くなど好ましくない方法で伝えてしまったりします。楽しい気持ちでいるときも同様に、いくら楽しくても部屋を走り回ることで表現したら危ない行動になってしまいます。

そこで、自分の気持ちを適切に表現することができるように、まずは今どんな気持ちでいるのかに気付けるように促していきたいと考えました。子どもの気持ちを汲み取り「楽しい気持ちなんだね」や「悲しい気持ちなんだね」や「悲しい気持ちなんだね」と言葉にして表してあげること、共感してあげることを大切に過ごしていきます。これらを通して、相手の気持ちに気付くことにも繋げていきたいと思います。

自分でできることが増えるように励ましていきます!

最近もも組では、上着を自分で着てみようと頑張る子が増え、一人で袖に手を通すのが難しかった子もできるようになってきました。はじめは帽子を被ることに苦戦していた子も、今では外に行くときにすぐに被り「もう準備できたよ」と自信たっぷりな表情をしています。次の段階としてファスナーを閉めることにも挑戦している子どもたちです。

できることが増えることは子どもたちの自信に繋がります。3学期は進級が視野に入ってくる学期です。期待 や喜びをもって年少組にあがってほしいと考えているので、今後も励ましていきたいと思います。おうちでもぜ ひ、少し難しいことにも挑戦している姿があればたくさん褒めてあげてくださいね。



いちごぐみだより

預かり保育を利用する子どもたちで、4日から「あけましておめでとう」と元気な声が聞こえてきました。朝 の冷えた空気が、気持ち新たに身も心も引き締めてくれるような新年のスタートです。年末年始、少しの間会わ ないだけで、なんだか背が伸び凛々しくなったような子ども達。久しぶりに会った子ども達に「背がのびて大き くなったね」と話すと、「おもちをいっぱいたべたから!」「おせち、おいしかったよー!」と胸を張りながら楽 しそうに答えていました。

新しい年を迎え、今年も元気で明るい、楽しいいちごぐみのみんなと過ごせることにとてもわくわくしていま す。3月まであっという間かと思うと寂しい気持ちもありますが、まずは冬の自然を味わいながら全力で楽しみ たいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月のねらい

「冬ならではの遊びを通して、自然の不思議を味わう」

冬の自然には不思議がいっぱいです。ちらちら降る雪は、触れればとけてしまいます。ずっと触れていれば手 はどんどん冷たくなり、時には痛くもなってきます。水たまりには氷が張り、つららも見られるかもしれません。 吐く息が白くなること、雨・雪・みぞれ・ひょうなど空から降るものに様々な名前があること、自然の中にはた くさんの「なんでだろう」「ふしぎだなあ」「きれいだなあ」が隠れています。日本は春夏秋冬それぞれに魅力が ありますが、冬はとくに不思議で、ここ東北ならではの現象も沢山あるかと思います。子ども達とたくさんの不 思議や驚きを、共有し味わいながら過ごす1月にしていきたいです。

「友だちと一緒に、様々なあそびに触れ楽しむ」

子ども達それぞれが、仲良しの友だちや教師と過ごす園生活に期待を持つ姿があります。「みんなでやったら楽 しい」という気持ちも少しずつ感じているようです。お正月ならではの遊びや、ゲーム性のある集団遊びなど、 みんなで様々なあそびに触れ、楽しむ時間をたくさん作っていきたいです。初めは見ていて様子を伺う子や、別 の遊びをしてみたい姿も受け止めながら、いちご組で過ごす時間を楽しんでいきます。

おねがい

手袋やマフラー、上着にブーツなど、冬は身に着けるものが多く、また着脱しづらいものも多いです。子ども 達は最近、「やってみる!」と自ら上着に袖を通したり、チャックに挑戦したりしています。自分たちで身支度や 始末をしようとしている子ども達ですが、どうしても小さいものは迷子になってしまうこともあります。お正月 で新調したものも多いかと思いますので、子ども達も分かるところに記名をお願いいたします。



































ひまわりぐみだより

明けましておめでとうございます。

子どもたちから冬休みの思い出話を聞けることを、とても楽しみにしていました。2023年も子どもたちと楽しい思い出をたくさん作っていきたいです。

今年度も残すところ3ヶ月になります。月日の流れに驚くばかりですが、その分ひまわり組で様々な経験をすることができました。3学期もひまわり組の子どもたちと充実した時間を過ごすことが出来るよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月のねらいについて

1月のねらいは【ルールのある遊びをみんなで楽しむ】です。

2学期にはお店屋さんや聖誕劇を通して、それぞれの役割をもって全員で楽しむという経験をしました。自分がやりたいことや、劇の台詞を友だちと一緒に考える経験は楽しくもあり、時には意見が合わなかったり思い通りにならなかったりする歯がゆさも、同時に体験したことと思います。

プンプン怒ったり、もうやらないよと拗ねてみたり、小さな胸の中にたくさんの葛藤があったようです。私たちはそんな姿に寄り添いながら、『どうやったらみんなが楽しくできるか』『一人がたくさんの我慢や努力をするのではなく、みんなが少しずつそういった気持ちを持つことで、多くのことが解決できる』ことを経験してほしいと願っていました。この経験を糧に、さらに友だちと一緒に物事に取り組む経験をしてほしいと思っています。

3学期は、勝ち負けのあるゲーム遊びを意識的にクラス活動で取り入れていきます。まずは、猛獣狩りやハンカチ落としなど、遊んだことのあるゲームを程度行っていく予定です。ルールがある遊びは、難易度が上がるだけでなく、友だちとのコミュニケーションも重要になってきます。年中さんは勝ち負けに敏感なお年頃です。自分が勝って嬉しい!だけではなく、『勝つためには、チームの友だちにどんなふうに振るまったり、表現したら良いか』や、『負けた時に、どんなふうにモチベーションを上げていくか』等、4歳月なりに考える機会にしたいと思います。

嬉しいことを倍にし、悲しいことを半分にしてくれる『友だち』の存在をポイントに、お互いを大事にできるよう、私たちも関わっていきます。

ゲーム活動の様子は、クラスのドキュメンテーションコーナーなどでお伝えしていきます。是非ご覧ください。

☆素敵!ひまわりさんの感性☆ ~エピソード紹介~

- ☆ (猛獣狩りゲーム後…)「リス…キツネ…シマウマ…フラミンゴ…もっと、長い名前ないかなあ。ゲゲゲの鬼 太郎だったら、8 文字もあるのに。」→その後、図鑑を探しに行ったのでした。長い名前の動物、見つけられ たかな?
- ☆ (なにやら、女の子同士で揉めている気配なので、声をかけたところ…) 「先生!大丈夫!さっきこんなことがあって言い過ぎちゃったの。今ごめんねって言ったばっかりだから。」 「そう。大丈夫!もう仲直りしたよ」 →手を繋ぎながら話す二人。二人ともほっぺには、たった今流したばかりの涙が残っているのでした。こんなふうに仲直りできるなんて、子どもの心の柔らかさに感動したエピソードでした。



ゆりぐみだより

年明け、預かりの子どもたちと会うと「あけましておめでとう!」「ことしもよろしくおねがいします」と元気よく新年の挨拶をしてくれました。その後は祖父母のお家に行った話やお餅をたくさん食べた話、出掛け先での面白いエピソード…話が尽きることはありませんでした。今日からゆり組30人が揃い、久々に元気いっぱいのお部屋になります。2023年も笑顔溢れるゆりさんと元気に過ごしていきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。



1月のねらいについて

1つ目は、「友だちの素敵なところに気付き、伝え合う」としました。卒園まで残り3か月を切りました。今年のゆりさんは、友だちのことが大好きで、日々、「一緒に遊ぼうよ」「この遊びしたい人~?」と互いに誘いかけて遊ぶ姿が見られています。毎日濃い時間を過ごしている友だちの素敵なところはもう何個、何十個と知っていると思いますが、それを伝え合うことは、始めは照れくさいものだと思います。3学期に入ったこのタイミングで、素敵なところタイムという時間を設け、自分が知っているお友だちの素敵なところを伝え合い、互いに認め合う時間を大切にしたいと考えています。言葉で伝えてもらうことで、自分の良いところを知り自信に繋げたり、人前で発表する経験をしたりと、伝える側伝えられる側どちらにも色々な経験をしてほしいという願いを込めています。この取り組みについては、始まったら随時お伝えしていきますので、楽しみにしていてください。

2 つ目は、「新しいことにも挑戦しようとする」としました。4 月から行事や毎日の園生活を通して色々なことができるようになったゆり組の子どもたちです。3 学期からは今までの経験を経てついた自信を基に、新しいことにもどんどん挑戦していってほしいと思います。大きく育つにつれて、簡単にできるようになったこともあれば、難しく繰り返し挑戦しないとできないこともあると思います。その壁にぶつかった時に、投げだすのではなく、繰り返し取り組んでいくことで"できた!"という達成感をぜひ味わってほしいと思っています。できた時には一緒に喜び、できなくて悔しい思いをした時には、できるようになるための方法を教え合ったり、互いに認め合い、励まし合ったり…そんな1つ1つの姿を私たち教師も見守り、サポートしながら過ごしていきます。

ゆりぐみのエピソード

外遊びの片付けの時…

みんな片付けをしない!と数人の子たちが怒っていました。 この場面ごそ、みんなで力を合わせればいいよね… 各々気持ちをぽろぽろと呟き、提案する子もいました。 すると次の日・・・

「昨日は片付けなくてごめんな」「みんなで片付けようぜ!」と声を掛け合う姿が 沢山見られました!!! 日々の小さなことですが、自分たちで話して考えて 行動している子どもたちの成長が見れた一コマでした。

